

共通価値の創造（CSV）とは

世の中の社会課題を本業で解決する CSV 事業

第3回となるCNCPサロンは、12月11日（火）17時20分から神田錦町の「ちよだプラットフォームスクエア」で、野村総研の西尾紀一氏を講師に迎えて、CSVについて解説していただいた。

CSV（共通価値の創造＝Creating Shared Value）というコンセプトは、2011年にハーバード大のマイケル・E・ポーター教授により提唱された。企業活動において、社会課題の解決と企業の利益創出を両立させて、企業に新たなビジネスチャンスをもたらそうというものである。社会的価値と経済的価値は企業活動において離れていると思われていたが、重なる部分もあり、そこをCSV活動領域＝共通価値が創造される領域ととらえる。

社会課題に対応することで社会的価値を創造し、同時に経済価値も創造できるアプローチである。これは、慈善活動ではなく、あくまでも収益モデルを持つ事業として取り組むことで創造される。CSR（企業の社会的責任）が社会に負の影響を及ぼさないようにする予防＝守りの取り組みに対して、CSVは事業を通じた社会課題解決活動＝攻めの取り組みといえる。

CSV事業の国内事例として、伊藤園の茶産地育成事業（コンセプト：産地と伊藤園の共栄、背景：茶葉の需要増大なるも茶農家の減少、実施した活動：契約栽培と新産地事業）が紹介された。ここでの共通価値は、■社会的価値：農村部の地域振興（農業発展）、担い手不足の解消 ■企業にとっての価値：国産茶葉（原料）の安定供給、品質向上、とのことである。

つぎに講師より、国家レベルの課題「増大する国民医療費」の対応として、企業の健康経営（健康管理を経営課題としてとらえ、従業員の健康の維持・増進と会社の生産性向上をめざす経営手法）とCSVをからめてアプローチする概念図が提起された。

今回、なじみのない概念であったCSVの概略を教えてください、我われNPO活動に携わるものとして、社会貢献のあり方についてより多面的に知ることができた。私事であるが、筆者の属する団体は事業型NPOとして活動してきたが、CSVと競合ではなく協働できることもわかった。

一方で、事業として取り組む企業の信用と信頼をえるために、我われも実績をあげ組織を整えなければならぬと思った。



西尾講師



第3回サロン講演会

（シビルサポートネットワーク：高橋肇）